

【主たる中施策事業】評価と現状認識								
昨年度評価(R6年度)								
※	1_事業名	2_関連する重点事業名	3_総合評価	4_R6年度決算①	5_R7年度予算②	6_差(②-①)	7_評価と現状認識	8_所属
26	議会広報広聴事務	・議会用端末等導入事業	B	7,576	7,907	331	例年地域別意見交換会、議会報告会を実施しているが、より様々な市民の意見を聞けるようにしていくためにどのような工夫が必要なのが課題となっている。また、令和6年度は団体別意見交換会として、市の自主防災組織連合会との意見交換会を実施することができ、各地区の防災に係る課題等の意見交換ができた。 議会だよりについて、eモニターによるアンケートを実施したところ、全登録者中7割から回答を得ることができ、回答者中8割がときどき読んでいるもしくはいつも読んでいるという結果であった。より多くの市民に興味をもって読んでいただくためには、SNSを利用した発信が必要だと考えている。 議会用端末の導入はアプリケーションの導入ができていないため遅れているが、運用指針について検討した。今後、各議員が円滑に端末の運用を行えるようにしていく必要がある。	議事課
40	行政視察・政務活動事業		B	4,854	7,375	2,521	行政視察の受け入れは、年間20件程度実施し、新型コロナウィルス感染症の影響を受ける前の状態に戻っている。先進地への行政視察については、現場で得たことを実際にどのように生かしていくのかということが課題となっており、視察テーマの選定時における支援がより一層重要である。 政務活動費においては、適正な支出及びその効果的な執行ができるような支援が必要である。	議事課

※事業が関連するめざすまちの姿の番号です。

「3_総合評価」から「6_差」の内容は、各所属の中施策評価書からの転記です。